

■ 木村喜毅・浩吉関係文書の寄贈 /

木村家に伝わった軍艦奉行木村喜毅（芥舟、1830-1901年）とその嗣子・海軍少将木村浩吉（1861-1940年）の資料が、2017年7月、横浜市に寄贈された。木村喜毅の曾孫木村昌之氏によって横浜開港資料館に寄託され、2011年1月以降、整理・公開されていたもの（横浜開港資料館メールニュース、2011.2.2）。このたび昌之氏の子息、木村喜昭・忠昭両氏により絵画資料2点をのぞく全資料（総数378点）が寄贈された。寄贈の経緯や内容については横浜開港資料館の館報『開港のひろば』137号（2017.7.20）に掲載されている（同館ホームページにも掲載）。

資料には、咸臨丸渡米時の写真や記録、福沢諭吉書簡、芥舟の著作、浩吉の写真アルバムなどが含まれる。詳しくは横浜開港資料館『木村芥舟とその資料』（1988年刊）、同『咸臨丸太平洋を渡る』（2000年刊）参照。

文書・刊本・印刷物は原資料、軸類は複製写真で公開。扁額・写真類・記念品等の閲覧には特別閲覧の手続きが必要。
